

第8回 高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

平成28年度 総会

日 時：平成28年5月28日（土） 9：00～9：30

場 所：国民宿舎「桂浜荘」地下大会議室

議 事 次 第

1. 開会
2. 会長 片岡雅文 挨拶
3. 審議事項
 - <第1号議案> (1) 27年度事業報告
 - (2) 27年度決算報告
 - (3) 27年度監査報告

 - <第2号議案> (1) 28年度事業計画（案）
 - (2) 28年度予算決議（案）
4. 閉会

* 巻末資料 *

○総括

・会長 片岡雅文

○規約（平成28年5月28日現在）

○役員名簿（平成28年5月28日現在）

○会員名簿（平成28年5月28日現在）

「高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会」

平成27年度事業報告

1. 4月1日 『飛騰 第93号 4月』発行
私のテーマ 『永国先生に託されて(下)
ジョン万に英語を習ったある姫君の秘められた生涯』 小島 博明

話題人インタビュー 坂本龍馬家5代目 坂本 寿美子 氏
『父も龍馬も尊敬しているわ』
こぼれ話 犬歩棒当記(21) 『海援隊商事印』 宮川 禎一
2. 平成27年4月18日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室
【理事会】第7回総会大会準備について
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定
【月例会】会員発表 吉富 慎作「土佐山中!? 龍馬スピリット実践報告。」
3. 平成27年5月23日(土)
第7回 現代龍馬学会 総会・研究発表会 於：国民宿舎桂浜荘
テーマ「龍馬生誕180年・原点再考」
【基調講演】
ノンフィクション作家 小松 成美 氏 「坂本龍馬が築いた日本人のプライド」
【研究発表】
宮 英司 「坂本龍馬は教科書においてどのようにとりあげられてきたか
～子どもたちに もっと 龍馬を～」
鈴木 典子 「幕末長崎での出来事から 一池道之助日記に観る」
森本 琢磨 「高知市上町における龍馬顕彰の歴史」
柴崎 賀広 「風頭山・龍馬像からのメッセージ」
椿原 庸夫 「『日本一の龍馬像を建てた若者たち』に学ぶ」
亀尾 美香 「大石団蔵の幕末・明治」
4. 平成27年6月20日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室
【理事会】第7回大会総括
第8回大会開催について
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定
第7号紀要発行スケジュールについて
パネル展について

夏休み 子ども・龍馬フォーラムについて

【月例会】 会員発表 竹内 土佐郎「高松順蔵さんの人となり」

5. 7月1日 『飛騰 第94号 7月』発行
特集 第7回現代龍馬学会総会・研究発表会 テーマ「龍馬生誕180年・原点再考」
こぼれ話 犬歩棒当記(22)『維新は遠くなりにはけり』宮川 禎一
コラム・龍馬のこと 『坂本龍馬と洋学』織田 毅
話してみるかよ 『94歳の気迫』前田 由紀枝
6. 平成27年8月15日(金)
終戦記念日に誓う！第3回夏休み子ども・龍馬フォーラム 於：国民宿舎桂浜荘
テーマ「日本の洗濯」
【特別参加】米ハワイ・プナハウスクール高等部教諭 ひろみピーターソン氏
【パネリスト】小中学生26名 高知大学1名
【コーディネイト】坂本龍馬記念館学芸員 三浦夏樹・亀尾美香・前田由紀枝
【司会】坂本龍馬記念館館長 森健志郎
【主催】高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会 / 一般財団法人 坂本龍馬財団
7. 平成27年8月22日(土) 臨時理事会 於：坂本龍馬記念館B2講義室
第8回大会開催について
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定
パネル展について
8. 平成27年10月1日(木)～10月31日(土)
「終戦記念日に誓う！ 第3回夏休み子ども・龍馬フォーラム」報告展
於：海のみえる・ぎやらりい
9. 10月1日 『飛騰 第95号 10月』発行
私のテーマ 『集落宅同センターなかやまの郷土史研究活動から』中村 茂生
話題人インタビュー シンガーソングライター 堀内 佳氏
『あこがれの“龍馬”を歌いたい！』
こぼれ話 犬歩棒当記(23)『国家は文学でできている』宮川 禎一
コラム・龍馬のこと 『島で出会った“龍馬”』小林 幸代
話してみるかよ 『吉村虎太郎との出会い』楠本 剛
10. 平成27年10月17日(土) 理事会・月例会 於：国民宿舎桂浜荘
【理事会】第8回現代龍馬学会について
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定
紀要第7号編集進捗状況
パネル展について

龍馬月間イベントについて

【月例会】 会員発表 片岡 雅文 『龍馬取材のあれこれ』

11. 平成27年12月19日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室
【理事会】 第8回現代龍馬学会について
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定
第5回パネル展
紀要第7号編集進捗状況
【月例会】 発表 渋谷 雅之 『近世土佐の群像・土佐藩重臣日記(下) その1』

12. 1月1日 『飛騰 第96号 1月』発行
私のテーマ 『兆民と龍馬』片岡 雅文
話題人インタビュー 仏画家 江本 象岳 『龍馬の魅力にとりつかれて』
こぼれ話 犬歩棒当記(24) 『不愉快な歴史』宮川 禎一
コラム・龍馬のこと 『イラスト展「時代を駆ける龍馬」展を終えて』楠本 剛
話してみるかよ 『温かい言葉』宮 英司

13. 平成28年2月20日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館B2講義室
【理事会】 第8回現代龍馬学会について
月例会発表者、「飛騰」学会中刷執筆者選定
第5回パネル展
紀要第7号編集進捗状況
【月例会】 発表 渋谷 雅之 『近世土佐の群像・土佐藩重臣日記(下) その2』

14. 平成28年3月 『現代龍馬学会 紀要 2015 第7号』発行
【掲載内容】
第7回現代龍馬学会 基調講演及び研究発表

「高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会」

平成28年度事業計画（案）

- ① 定期総会 2016年5月28日（土）
- ② 現代龍馬学会大会開催 2016年5月28日（土）
会員の研究発表
- ③ 月例会
勉強会と記念館・会員からの報告、交流
（4月、6月、10月、12月、2月）
- ④ 「飛騰」発表
年4回（1月・4月・7月・10月）の記念館だよりに差込見開き4ページ
「私のテーマ」
「“話題人”インタビュー」
「こぼれ話」「コラム・龍馬のこと」「会員便り “話してみるかよ”」
- ⑤ 終戦記念日に誓う！ 第4回
夏休み子ども・龍馬フォーラム 2016年8月15日（月）
同 パネル展 2016年10月1日（土）～29日（土）
- ⑥ 第8号紀要発行（2017年1月）

その他

大会運営委員会、編集委員会、ホームページ委員会、例会委員会の各委員会のもと会務を執行する。

- 1、大会運営委員会 委員長 前田由紀枝
- 2、編集委員会 委員長 宮 英司
- 3、ホームページ委員会 委員長 亀尾美香
- 4、例会委員会 委員長 江上英治

総括

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、「時代の変革期を生きた龍馬の先駆的な思想に学び、その精神を将来へ受け継いでいこう」という趣旨のもと、2009（平成21）年に発足し、8年目に入ろうとしています。

ここまで7年間、毎年春に開催する総会と研究発表会、発表の成果を盛り込んだ『紀要』の編集・発行、2カ月ごとに開く例会と研究発表、龍馬記念館の機関誌『飛騰』の学会ページの作成、会員1人1人のテーマに基づいたパネル展示、そして龍馬記念館の主催する催し物への参加などを活動の主な柱にしてきました。

この間、私たちの活動をいわば縁の下で支えてくださってきた龍馬記念館のスタッフの皆さんに感謝申し上げたいと思います。

学会の活動の中心というべき研究発表会は、県内外から多数の参加・協賛を得て、年々充実したものとなっています。2015年の第7回は、「龍馬生誕180年・原点再考」のメイン・テーマのもと、109人が参加して熱のこもった発表や討論が行われました。

講演にお迎えしたのは、ノンフィクション作家で高知県観光特使でもある小松成美さん。テニスの錦織圭選手、歌舞伎の中村勘三郎丈らへのインタビューの余話を交えながら、龍馬の志向した平和の精神について語ってくださいました。また、高知大非常勤講師の宮英司さんの「坂本龍馬は教科書においてどのようにとりあげられてきたか」をはじめ、6人による研究発表は、独自の知見と思考を織り込んだ意味深いものでした。

時代が揺れ動き、国家的・社会的課題が次々に生起し、将来への見通しが不透明になっている今、私たちはどんな方向に向かっていけばいいのか？ 龍馬に学び、自由と平和の精神を継承していくことが、いっそう重要になっているように思われます。

ただ、残念でならないのは、昨年（2015年11月2日）、龍馬記念館館長だった森健志郎さんが73歳で急逝されたことです。龍馬学会の生みの親であり、企画力とバイタリティーにあふれた推進者、会員を励まし引っ張っていく力強い先導者でもありました。

2013年9月の龍馬学会初代会長、永国淳哉さんにつづいての訃報。まったく悲しく、つらいものですが、ここを乗り越えて、2人が敷いてくださった道筋を少しずつ歩んでいきたいと思っています。

会長・片岡雅文